

C57BL/6(B6)マウスとC3H/Heマウス(C3H)で網羅的なプロ
テオミクス解析

→硫化水素産生酵素であるMpstタンパク質上昇の関与

また、統合失調症患者死後脳のMpstタンパク質の高発現は
生前の臨床症状の重篤さに関連

硫化水素の産生過剰が生じる原因は脳発達期の
炎症・酸化ストレスに対する代償反応の一環である可能性

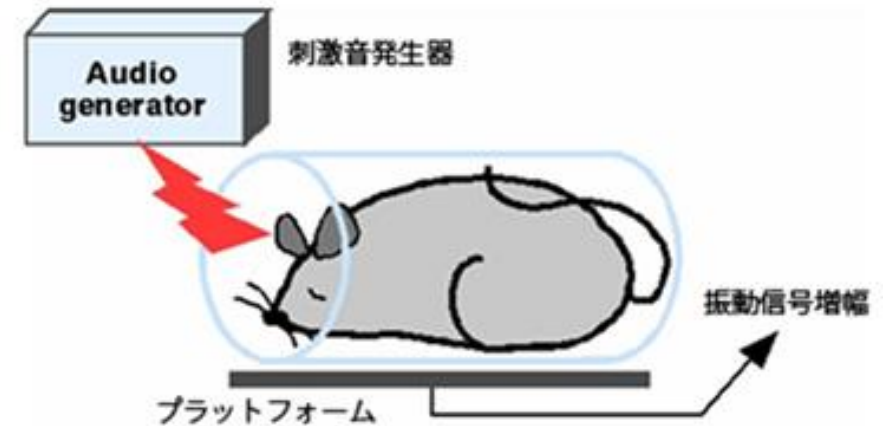
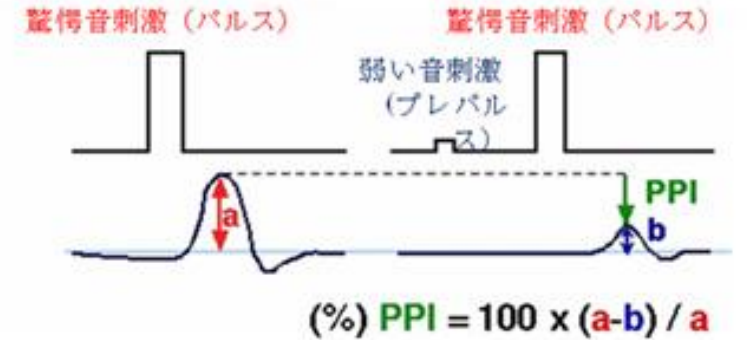
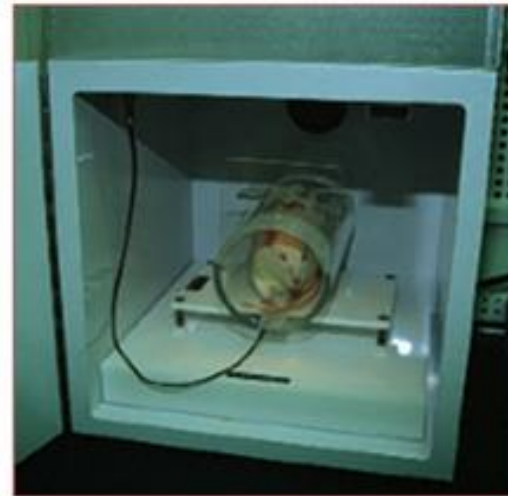
硫化水素の産生過剰はエネルギー代謝の減少、スパイン密度
の低下を引き起こし、それらが統合失調症に繋がる？

C3マウスではPPIがB6マウスの半分以下になっている
(watanabe et al., PLoS Biology 2007)

PPIが高い=PPIが良好
→統合失調症から離れている
(B6マウス)

PPIが低い=PPIが不良
→統合失調症状に近い(C3Hマウス)

PPI (prepulse inhibition: プレパルス抑制)

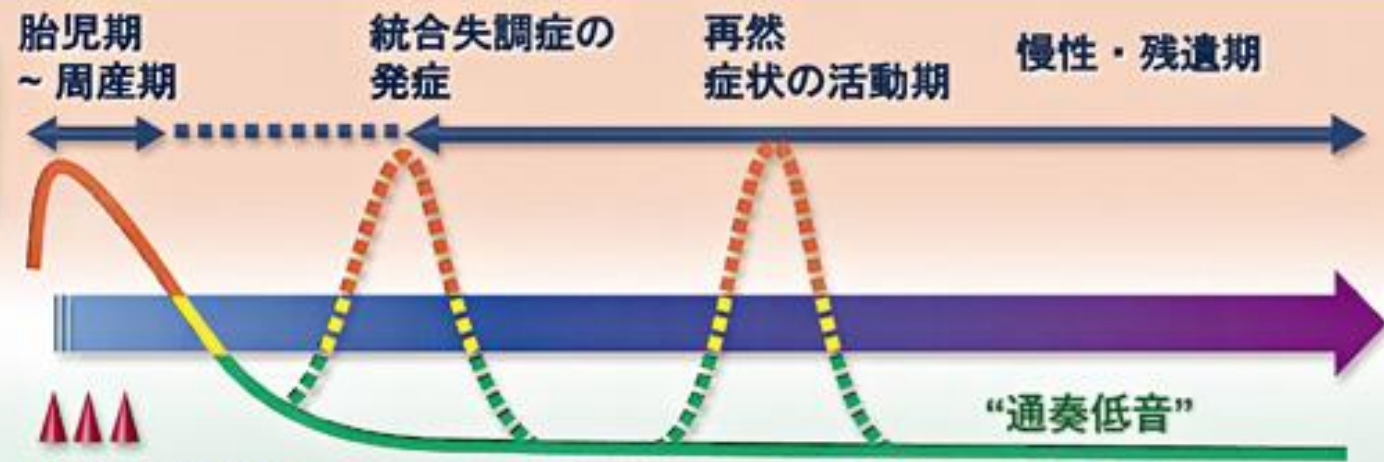


● 酸化・炎症
反応

● 抗酸化反応
● サルファイド
ストレス (イオウ
ストレス)



M: DNAのメチル化



酸化・炎症性
侵襲

